

所として、おもに受注作業の建築資材組み立て、自主製品であるファンシー雑貨の製作販売などを行っております。

地域の公園の中にある小さな事業所ですが、お隣が地域の集会所ということもあり、地域で行われる様々なイベントに参加、出店させていただくことも多く、地域の方々よりさまざまな形でのご協力を頂いて、地域に根差した活動を行っています。

来年には同区内に建設中の生活介護事業所と合わせた多機能事業所として新たなスタートを切る予定です。



はばたくでは月に一回お隣の集会所で開催される地域のイベント「ふれあい喫茶」に合わせ、「はばたく軒先バザール」としてバザー物品の販売、自主製品の販売をさせていただいております。

売り上げは上々・・・とはいきませんが、販売活動を通じて地域の方々と世間話をする機会もあり、事業所での活動内容をお話しさせていただいたり、とても大切な時間になっています。



**「第20回大阪市育成会事業所協議会舞洲運動会」が開催されました**

ハーモニー 国友 豊治

11月16日(金)に第20回大阪市手をつなぐ育成会事業所協議会舞洲運動会がアミティ舞洲障がい者スポーツセンターアリーナにて開催されました。

5月から参加事業所の職員で行う実行委員会、6月

からは本人さんが行う本人委員会で話し合いを重ねました。

実行委員会では、主にプログラム検討と運営方法について話し合います。プログラムについては20回の節目の運動会という事もあり、過去の取り組みを振り返る事から始まりました。これまでの運動会の歴史を感じつつプログラム検討が出来た事で、良いスタートをきる事が出来ました。

スローガンの「きずな」は早い段階で決まり、実行委員は「きずな」を意識した競技作りを目指して話し合いを重ねました。その取り組みにより参加される方が「きずな」を感じられる工夫を凝らした競技に結実したと実感しています。

8事業所が参加する運動会の為、各事業所の特性に配慮する事にも努めました。特に安全面・本人さんの体力の有無や個性への配慮については時間を掛けて話し合いました。課題を一つ一つ解消する事でそれぞれの提案を運動会に反映する事が出来たと感じています。



本人委員会では、本人さんが主体となって「ドッチスター」の検討を行いました。初めは緊張されていた方が、委員会を重ねる毎に積極的に活動される姿に力を頂きました。当日は司会や音響、ボール渡し、ボール拾い、的並べ等の役割を十分に果たされ活躍していました。今回、本人委員会の代表には運営主体として開会式・閉会式で挨拶を頂いています。本人主体の運動会として一歩前進した様に思います。代表の方の素晴らしい挨拶には身の引き締まる思いでした。

